

資料 7

平成 25 年度 松戸市次世代育成支援行動計画推進委員会 報告

平成 26 年 3 月 25 日

松戸市次世代育成支援行動計画推進委員会
委員長 齊藤 進

平成 25 年 8 月 20 日設置された松戸市子ども・子育て会議において、これからの松戸市の子どもと子育て支援について議論がされているため、本会議は今年度をもって解散し、意見を松戸市子ども・子育て会議に引き継ぐこととします。

意 見

○松戸市の次世代育成支援の視点は、広く未来の街づくりであり、松戸市全体で取り組む必要がある。教育委員会、街づくり部、経済部などをはじめ、横断的な部署が出席する中で議論し、松戸市全体で取り組む課題としてほしい。

とりわけ、子どもとその家庭を支えていくためには、教育と福祉の分野における連携が必要である。

○松戸市は、小学校、幼稚園、保育所による支援やボランティア活動や見守り活動などをはじめ、地域の大人自身の子ども時代の体験が、子どもたちの育成につながり、色々な大人の力が重なって、松戸市の子どもたちが元気に育ち、安心して過ごせる街となっている。

今まで松戸市に培われてきた子どもや子育ての環境や文化を守り伝え、0歳から18歳までの子ども達が支援の網の目からこぼれ落ちる事がないよう、そしてまた、今後の10年を見越した支援のシステムを構築するような夢を語る議論をすることが大切である。